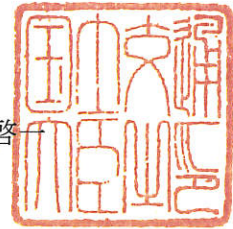


認 定 書

国住指第 3316 号
平成 31 年 2 月 7 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1043
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材・膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂水酸化アルミニウム系シール材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材・膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂水酸化アルミニウム系シール材充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ160mm以下)
	面積	0.0202m ² 以下
占積率 (開口面積又はスリーブ外断面積に対する ケーブル・配管の断面積の総合計の割合)		62.8%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート造 厚さ 70mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管・ケーブルの仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
充てん材① (耐熱シール材)	梱包材	材料	梱包材付ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材
		使用箇所	蓋金具の内周部分
	充てん材	材料	仕様：あり又はなし
		厚さ	
	充てん材	材料	ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材
		形状	バテ状
		密度	
		組成 (質量%)	
		使用量	蓋金具の形状に合わせて隙間が無いよう密に充てん (床上面又はスリーブ上端部から40mm以上)
	充てん材② (熱膨張性耐熱シール材)	材料	膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂・水酸化アルミニウム系シール材
形状		バテ状	
密度			
組成 (質量%)			
使用箇所 (使用量)		蓋金具及び充てん材①の内側に隙間が無いよう密に充てん (配管・ケーブルの周囲、床上面又はスリーブ上端部から40mm以上)	

表3 配管・ケーブルの仕様

項目		仕様				
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本あたり	38mm ² 以下			
		総合計	159.5mm ² 以下(銅等の金属類)			
	総有機量	0.70kg/m以下				
	導体(又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質				
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	1.2mm以下		
		塩化ビニル系				
		EPR(エチレンプロピレン系)				
介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート、ポリプロピレン、又はなし					
シース	ポリエチレン系	厚さ	1.7mm以下			
	塩化ビニル系					
	ポリオレフィン系					
	合成ゴム					
配管等	配管等の種類 (電線管・配管(給水管・排水管)・挿入管)	合成樹脂製可とう電線管(CD管、PF管) (JIS C 8411)	φ 45.5mm以下(PF管) φ 48mm以下(CD管)	—		
		銅管 (JIS H 3300、JIS H 3320)	φ 53.98mm以下	2.8mm以下		
		鋼管 (JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、 JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)	φ 48.6mm以下	7.1mm以下		
		ステンレス鋼管 (JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)	φ 48.6mm以下	7.1mm以下		
		アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管 (JIS H 4080)	φ 38.1mm以下	1.8mm以下		
		硬質ポリ塩化ビニル管(VP、HIVP、HT) (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776)	φ 60mm以下	4.5mm以下		
		結露防止層付硬質塩化ビニル管 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層	φ 76mm以下	厚さ	9.5mm以下 (内層2.5mm以下)	
		可とうポリエチレン管	φ 22mm以下		1.2mm以下	
		被覆付可とう塩化ビニル管 外層・内層：ポリ塩化ビニル樹脂 断熱層：ポリエチレンフォーム	φ 37mm以下 (内径 φ 25mm以下)		6mm以下	
		被覆材 (あり又はなし)	φ 100mm以下 (仕上り外径)		20mm以下	
発泡ポリエチレン系						
発泡架橋ポリエチレン系						
発泡ポリウレタン系						
発泡ポリスチレン系						
発泡ポリプロピレン系						
発泡フェノール系						
発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)						
グラスウール(JIS A 9504)						
ロックウール(JIS A 9504)						
発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム系)						
使用方法	必要に応じて、配管(銅管、鋼管、ステンレス鋼管、アルミニウム管及びアルミニウム合金継目無管、硬質ポリ塩化ビニル管)に用いることが出来る					

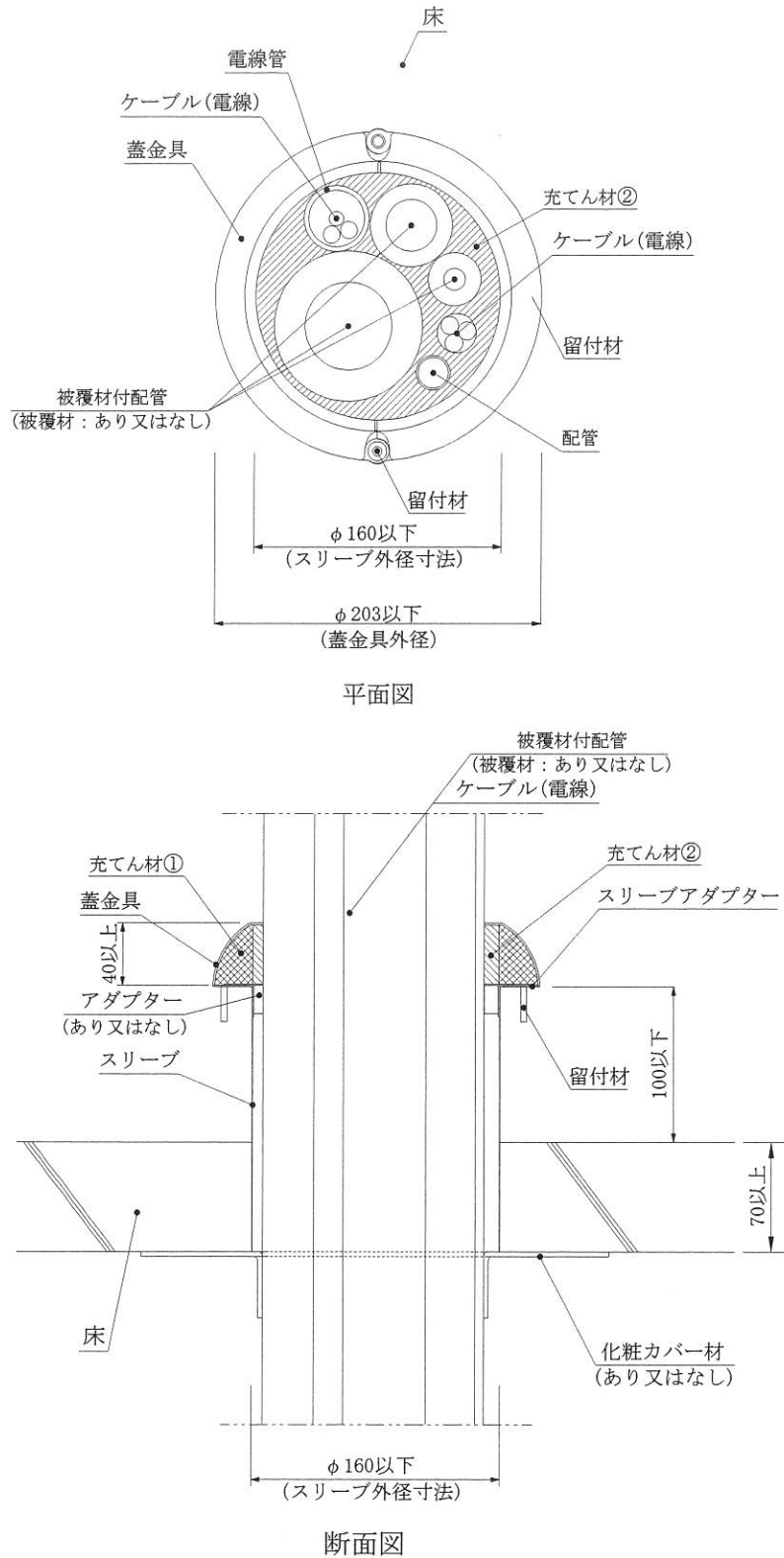
4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
蓋金具	材料	鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	本体 厚さ0.8mm以上、高さ40mm以上(外径等は開口寸法による、図3参照) 保持材(充てん材①の保持部品) 厚さ0.8mm以上、6箇所以下(数量は開口寸法による)
スリーブ	材料	仕様：あり又はなし 鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	厚さ0.4mm以上、φ160mm以下、床面上部露出寸法100mm以下
アダプター	材料	仕様：あり又はなし 鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	厚さ0.8mm以上(外径等は開口寸法による、図3参照)
	使用箇所	必要に応じて、蓋金具内の充てん材脱落防止材に用いる (寸法上、配管・ケーブルを納められない場合を除き、可能な限り用いること)
スリーブ アダプター	材料	鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	厚さ1.0mm以上(外径等はスリーブ寸法による、図3参照)
	使用箇所	スリーブを床面より上部に露出させて用いる場合、スリーブの床上端部に使用 (蓋金具留付用)
留付材	材料	タッピンねじ又はコンクリートビス(鋼製又はステンレス鋼製)
	寸法	φ3.8×25mm以上
	使用箇所	スリーブの床上端部又は躯体の床上部(2箇所以上)
化粧カバー材	材料	仕様：あり又はなし アルミニウムはく張ポリエチレンフォーム(アクリル樹脂系粘着剤あり)
	寸法	大きさ300×300mm以下、厚さ3mm以下(アルミニウムはくの厚さ0.02~0.08mm)
	使用箇所	必要に応じて、下面に使用

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図3に示す。

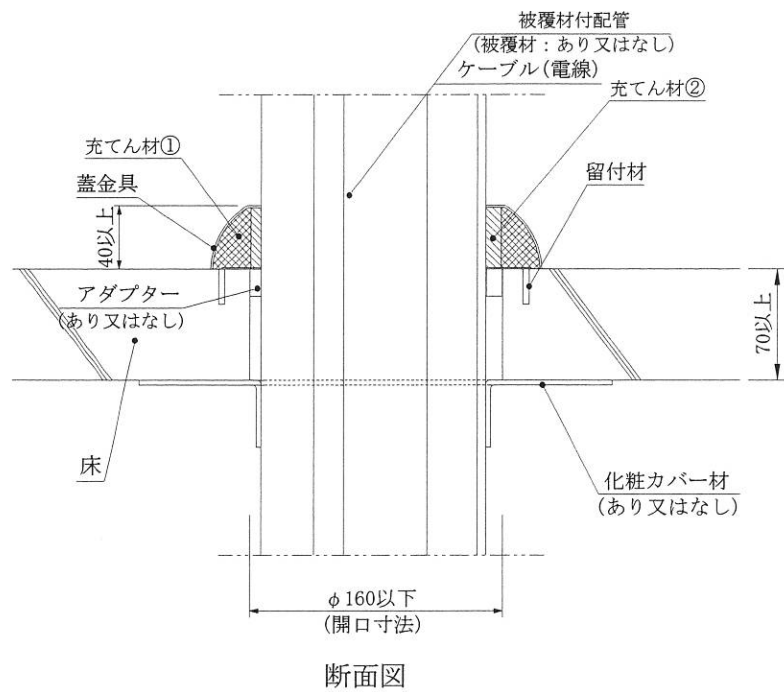
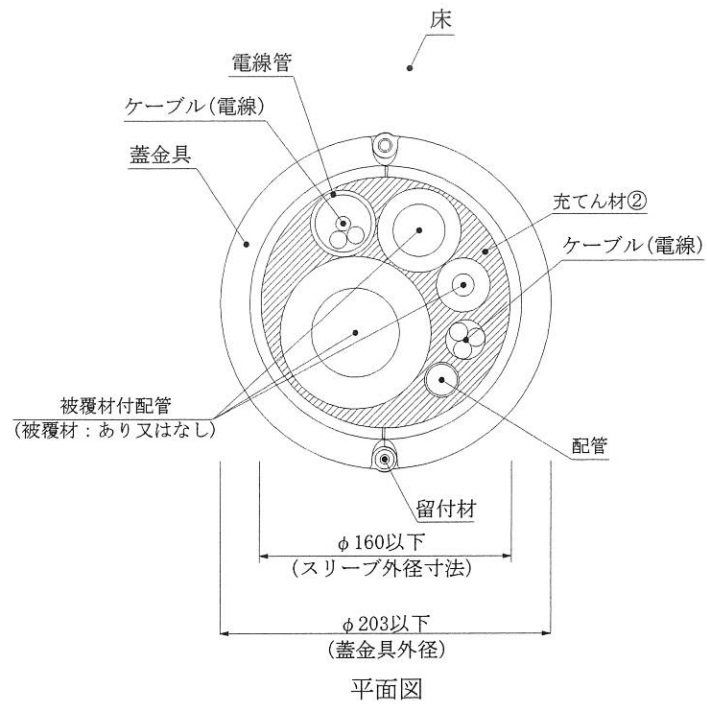
単位 mm



注) ケーブル・電線管・配管等の配置の一例を示す

図1 構造説明図

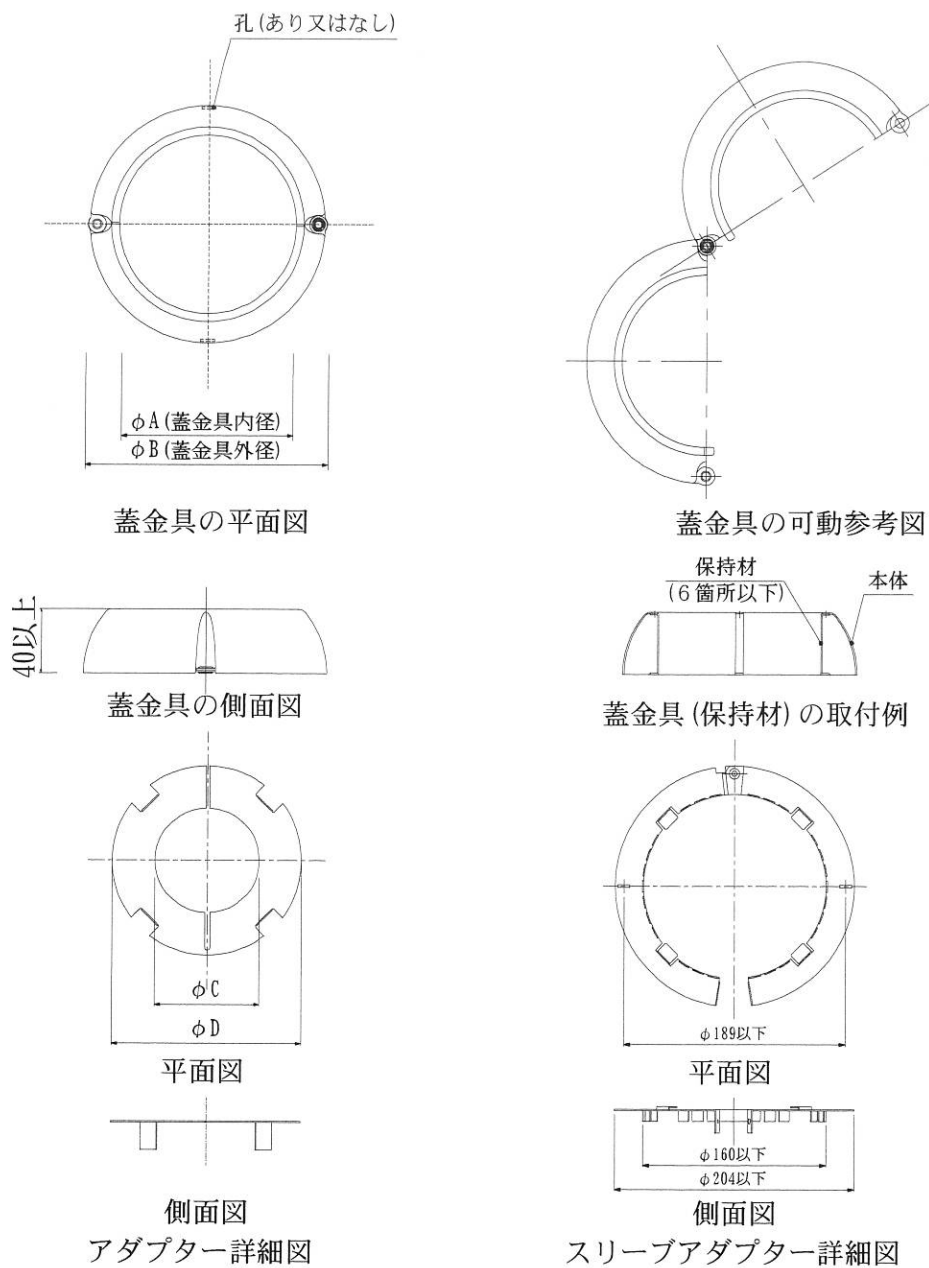
単位 mm



注) ケーブル・電線管・配管等の配置の一例を示す

図2 構造説明図

単位 mm



蓋金具・アダプターの標準寸法例

開口寸法	呼び	φA	φB	φC	φD
φ55mm	50	52mm	98mm	-	-
φ85mm	75	82mm	127mm	45mm	93mm
φ110mm	100	107mm	152mm	65mm	118mm
φ132mm	125	133mm	178mm	85mm	143mm
φ160mm	150	158mm	203mm	105mm	168mm

図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 貫通孔の設定

ボイド管やコアドリル等を用いてφ160mm以下の貫通孔を設ける。又は、鉄筋コンクリート造φ160mm以下のスリーブを先付で設け、セメントモルタルにて設置したスリーブを埋め戻す。

(2) 配管・ケーブルの設置

配管・ケーブルを設置して支持・固定する。

(3) 蓋金具の取付け

スリーブあり(床面より上部に露出あり)の場合は、スリーブ上部にスリーブアダプターを設置し、梱包紙に包まれた耐熱シール材(充てん材①)付蓋金具を開き、配管・ケーブルを金具の中に入れ込んで留付材を用いて2点以上固定する。またスリーブあり(床面より上部に露出なし)及びスリーブなしの場合は、梱包紙に包まれた耐熱シール材(充てん材①)付蓋金具を開き、配管・ケーブルを金具の中に入れ込んで留付材を用いて2点固定する。(床上面に処置を行う)

(4) 熱膨張性耐熱シール材(充てん材②)の充てん・仕上げ

熱膨張性耐熱シール材(充てん材②)を全て蓋金具の内部に密に充てんし、隙間が無く面一であることを確認し、脱落しないように仕上げる。(床上面に処置を行う)

なおアダプターは、蓋金具内の充てん材脱落防止材であり、寸法上、配管・ケーブルを納められない場合を除き、可能な限り用いること。

(5) 化粧カバー材の施工

蓋金具の反対側において、必要に応じて配管・ケーブルと躯体部分に化粧カバー材を施工する。